

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	豊島 克充	学校名	大阪市立友渕小学校
実施学年	2年生	教科	特別の教科道徳
題材名	「インターネットを使った友だちとのかかわり方について考えよう」(礼儀・情報モラル)		

### 《学びを深めたいポイント》

本時では道徳の時間で学んだことを生かし、SNS や E メールなど、インターネット上でのコミュニケーションについて考える。情報を発信する側として、相手の状況や気持ちを考え、気持ちの良い言葉遣いや関わり方を行うには何が必要かを考えることをねらいとして、NHK for School「新ざわざわ森のがんこちゃん」の「でんごんツバンの回」を活用した。実践では、番組を途中まで一斉視聴し、見出した4つのトラブルについて、グループごとに協働で解決する。さらに番組を続きから最後まで視聴し、グループ間で意見を交流することで、本時の課題についても児童がそれぞれの考えを深め、解決していく。

学び深めるポイントは、視聴メモの記入やトラブルを解決する方法について話し合う際に「相手はどんな気持ちだったのか」や「自分たちの生活と比較してどうなのか」といった視点を持って活動に取り組むことである。相手の状況や気持ちを想像することが難しい場面で、自分たちにできることはないか、これまでの学びや生活経験をもとにして考えを形成する。そしてその考えを交流し、学びを蓄積していく中で、さらに学びが深まっていくと考えられる。

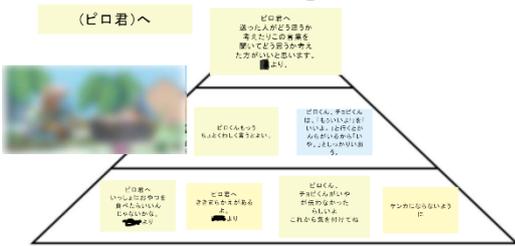
### 《SKYMENU 活用のポイント》

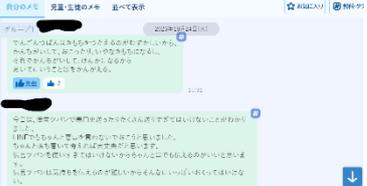
本時では気づきメモや発表ノートを活用する。

気づきメモは番組を視聴していく中で考えたことや分かったこと、不思議に思ったことをメモするために活用した。児童が番組を視聴しながらメモをとることで曖昧に認識している自らの考えを可視化し、理性的に認識することができる。メモはグループ化させておくことで友だちの考えを参照することもできるため、いつでも見られるようにしておく。自分の考えと他者の考えを好きなタイミングで比較することで、共通点や相違点が明確になると考えた。視聴後は学級全体で視聴メモの内容を振り返り、指導者や児童との対話をしていくことで、視聴を通して学んだことや疑問に思ったことを整理することができ、新たな課題を発見することができる。さらに本時の後半では、SNS 等におけるメッセージや E メールで相手とコミュニケーションを行う際に大切にすべきことを考え、意見交流を行う際に気づきメモを活用する。本時での活動や学習の前半で記していた気づきメモ、友だちの意見を参考にすることで、学びが深まっていくと考えられる。

発表ノートは番組視聴を通して見出したトラブルの場面について解決方法を話し合う際に活用した。はじめにあらかじめ配布しておいた発表ノートに自分の考えをまとめておき、その後グループ内でグループワーク化させ、自分たちの考えを整理する。その際は、これまで気づきメモや指導者が資料置き場に用意した重要シーンの静止画も利用し、それぞれのトラブルについての解決方法を話し合えるようにする。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1. メッセージやメールを使ったやり取りについて、経験や考えを話し合う。		
展 開	<p>2. 新ざわざわ森のがんこちゃん「でんごんツバン」を途中まで一斉に視聴する。(0:00～7:13)</p> <p>3. 気づきメモの内容をもとに、動画教材内で起こったトラブルで、登場人物がどんな気持ちになるかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんこちゃんが何度もでんごんをおくる。</li> <li>・ピロくんがあいまいな返事をする。</li> <li>・ケロちゃんが誤解するようなでんごんをする。</li> <li>・バンバンが怒って悪口をでんごんする。</li> </ul> <p>4. 登場人物に動画教材内で出てきたトラブルについて、どんなアドバイスをするか考える。</p> <p>5. 「でんごんツバン」を最後まで視聴(7:13～10:00)し、がんこちゃんの気持ちを話し合う。</p>	<p>・気づきメモを使って、視聴中に考えたことや感じたことを記入できるようにしておく。</p>  <p>・視聴中の気づきメモを指導者と学習者が対話しながら振り返ることで、どんなトラブルが起こったかを確認できるようにする。</p> <p>・配布しておいた発表ノートにアドバイスをまとめる。</p> <p>・グループ内のタイミングでグループワークを開始し、話し合いながら、それぞれの意見を整理する。</p> 	<p>・学級全体で同じグループメモに記入することで、個々の学びを交流できるようにする。</p> <p>・メモの蓄積を振り返ることで、児童の学びを生かした課題設定を行うことができる。</p> <p>・気づきメモの内容を振り返り、発表ノートに使用しても良い。</p> <p>・思考ツールに意見を整理することで、協働的に活動しやすくする。</p>

ま と め	6. 本時を通して、メッセージを使って人と関わる際には、どんな考えが大切かを交流する。	・気づきメモを活用し、課題についての自分の考えを記入する。 	・学級全体で同じグループメモに記入することで、個々の学びを交流できるようにする。
-------------	---	---	--

《実践を振り返って》

今回の実践では、情報モラルにおける「インターネットや SNS を正しく使うこと」について、児童が相手の状況や気持ちに応じて相手と関わることの大切さに気付くことができた。

気づきメモを NHK for School の番組を視聴する際のメモとして活用することで、番組を一斉に視聴した際に児童が感じたことや考えたことをその場で記録することができた。またグループメモ化することによって他者の考えを参照できるようになったとともに、その考えを相互評価することや、他の考えと自分の考えを比較することで、様々な視点で番組を視聴するようになった。

発表ノートを活用したグループワークにより、児童はグループ内で話し合いながら課題解決に取り組むことができた。グループワークを行うタイミングはグループごとに決めさせた。そのためグループごとに他者参照しながら活動するグループや、話し合いながら1つの端末に考えをまとめるグループ、役割分担を行うグループなど、様々な方法で課題解決を行うことができた。また、指導者が資料置き場に用意した資料や記入していた気づきメモを使うことで、それぞれがより最適だと考える方法で活動ができたのではないかと考える。

今回の実践では、一斉学習の場面でのSkymenu Cloud の活用となった。そのため児童は学級全体で課題を見出し、主体性を持って協働的に活動に取り組むことができた。今後は児童が学びを自己調整する中で個別に課題を見出し、同じ課題に取り組む児童同士と協働することや他の課題に取り組む児童との交流によって多角的に学びを深めていくことが必要である。そのような学びのために NHK for School の視聴や Skymenu Cloud の活用、そして交流といった方法についてより深く検討を進めていきたいと考えている。